News Release

西日本シティ銀行

2018 年 11 月 6 日

～ 手指リハビリ用ロボット装具の開発・事業化 ～
QB 第一号ファンド　「株式会社メグウェル」への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「株式会社メグウェル（代表取締役 田名部 徹朗）」（以下「当社」）へ出資（プレ投資※）を行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

※：プレ投資とは、大学発ベンチャーの課題の一つといわれる研究費と民間投資の間にある資金的ギャップを埋め、地域において有望な大学発ベンチャーの創出を目指す QB ファンド独自の大学発ベンチャーインキュベーションプログラム

記

１．対象企業の概要

会　社　名	株式会社メグウェル
本 社 住 所	福岡県筑紫野市岡田三丁目 10 番 9 号
代　表　者	代表取締役　田名部 徹朗（株式会社三松 代表取締役）
設　立	2018 年 9 月
事 業 内 容	医療機器及び介護・福祉機器の研究開発、製造・販売、利活用に関するコンサルタント

２．脳血管疾患の現状と課題

我が国の脳血管疾患の患者数は、悪性新生物・心疾患に次いで多く、寝たきりの原因の第一位であり、多くの場合手指に麻痺が残り、日常生活への影響が大きいと言われています。一方、手指は関節が多く骨格が複雑なため、手指リハビリ用装具の実用化は技術的ハードルが高いと言われてきました。

３．対象企業の特徴

当社は、これらの課題を解決すべく、九州大学工学研究院荒田准教授が開発した従来にない柔軟機構を活用し、小型・軽量・安価な手指リハビリ用ロボット装具「SMOVE」の開発及び事業化を目指します。また、当社は、技術シーズ・知見は九州大学（工学系、医系）、ものづくりは地場企業（株式会社三松）という、まさに九州発医工・産学連携プロジェクトから生まれた大学発ベンチャーです。

以　上

参　考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

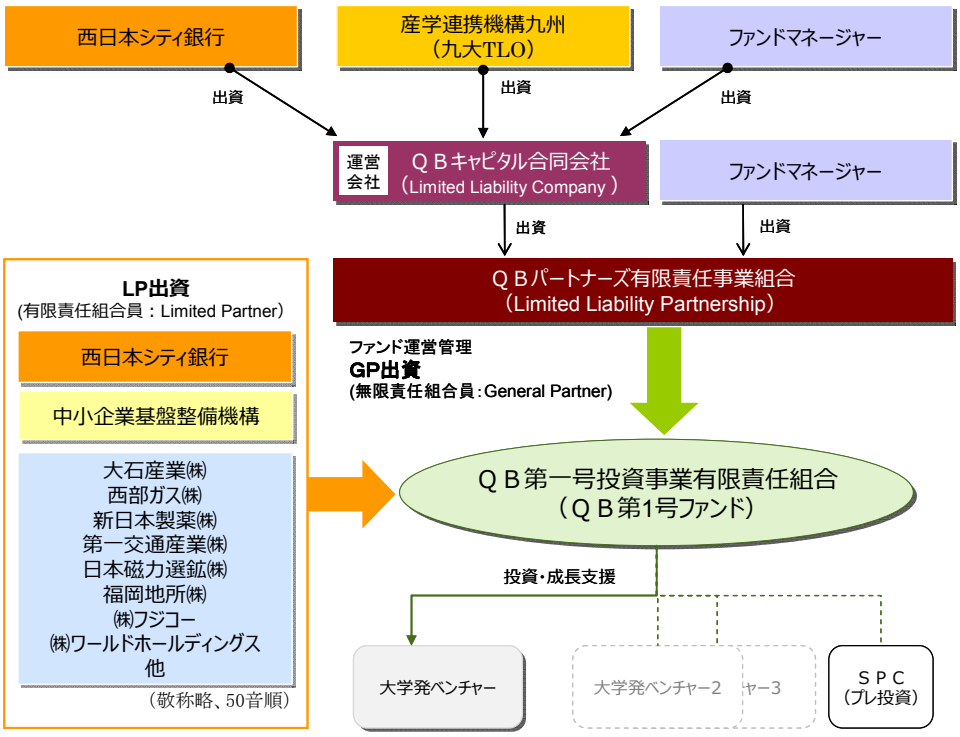
１．ファンドの概要

名　　称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設　立　日	2015 年 9 月
ファンド総額	約 31 億円
無限責任組合員 (GP：General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有限責任組合員 (LP：Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社　他
存　続　期　間	10 年間

２．運営会社の概要

名　　称	QB キャピタル合同会社
設　立　日	2015 年 4 月
所　在　地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出　資　者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州　他
代　表　社　員	坂本 剛、本藤 孝

３．ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
法人ソリューション部　渡辺・多良木　TEL092-476-2741